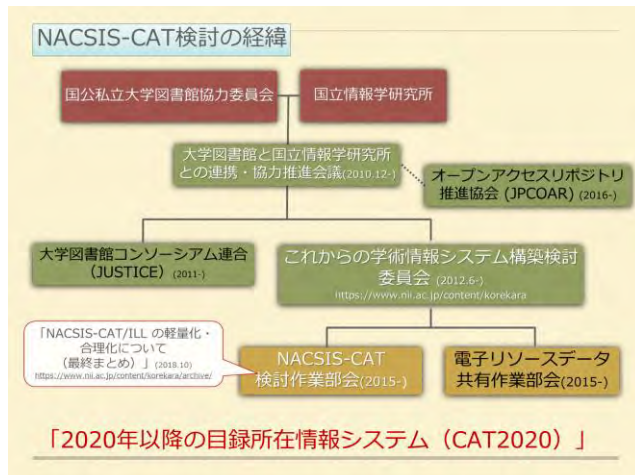




これは「セルフラーニング教材」CAT編：図書コースの補足教材です。

NACSIS-CAT/ILLは、2020年から図書における目録業務の一部が、異なる運用になります。ここでは、目録業務を行う上で、知っておかなければならない点を、今までのセルフラーニング教材と対比しながら説明します。



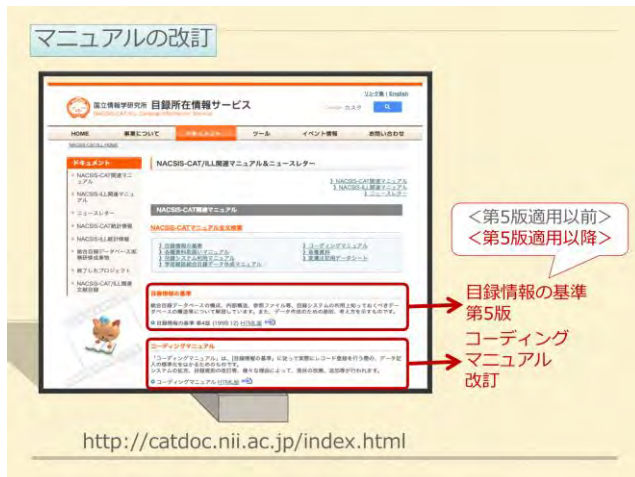
変更点の説明の前に、NACSIS-CATの検討の経緯を見ておきましょう。

2010年に、「国立情報学研究所と国公立大学図書館協力委員会との間における連携・協力の推進に関する協定書」が締結されました。この協定に基づいて、2010年12月に大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議が設置されました。

2012年6月、連携・協力推進会議の下に「これからの学術情報システム構築検討委員会」が設置されました。2015年、この委員会の下に「NACSIS-CAT検討作業部会」が置かれ、2020年以降の、目録所在情報システム(CAT2020)に向けた検討が、本格的に進められました。

検討の結果、2018年10月に「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について(最終まとめ)」が公開されました。この「最終まとめ」に基づいて、2020年から、NACSIS-CATの図書に関する運用が変更になります。

詳しくは、「これからの学術情報システム構築検討委員会」ホームページをご覧ください。



目録担当者が参照するマニュアル類も、この「最終まとめ」に基づいて改訂しました。

『目録情報の基準』は、目録システムの構造化、データ作成のための原則、考え方を示しています。1999年以来、長らく「第4版」が使われてきましたが、軽量化・合理化の考え方を盛り込んで「第5版」に改版します。また、目録の具体的な記述方法を示した『コーディングマニュアル』は、図書に関する内容が改訂されます。スライド下部のURLがマニュアル類のページです。新たなマニュアル類を日常的に参照するよう心がけてください。

なお、この教材では、NACSIS-CATの運用の変更の前後を、『目録情報の基準』の改版に沿って、『第5版』適用以前』『第5版』適用以降と表現します。



具体的な説明に入る前に、「最終まとめ」の用語の変更について説明しましょう。

セルフラーニング「目録システム(NACSIS-CAT)入門」2節1項では、スライドのような図で「ファイル」と「レコード」の関係を説明していました。

「第5版」適用以降は、「ファイル」を「データセット」、「レコード」を「データ」と呼びます。

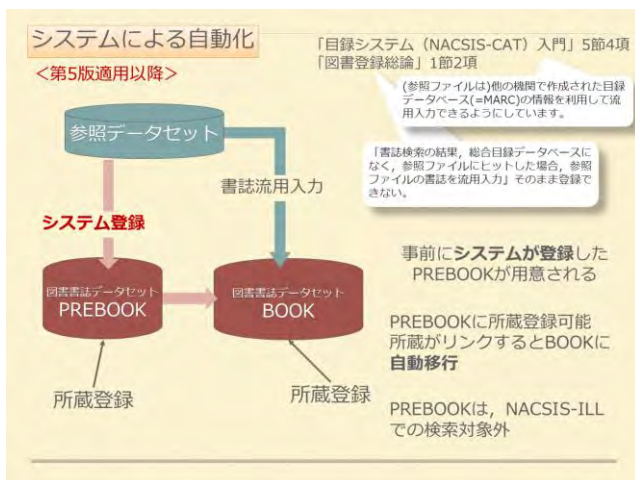
したがって、たとえば、「書誌データセットの中に書誌データを収めている」というように表現します。

この教材では、今までのセルフラーニングにあった記述は、スライドの右上に表示します。この部分だけ元の記述を残して、他は新しい言葉を使っていきます。



「最終まとめ」における8つの変更のポイントを、大きく3つに分けて説明していきます。

1つ目は「システムによる自動化」、2つ目は「出版物理単位での書誌作成」、3つ目は「並立書誌の許容」です。



最初に、「システムによる自動化」について説明します。

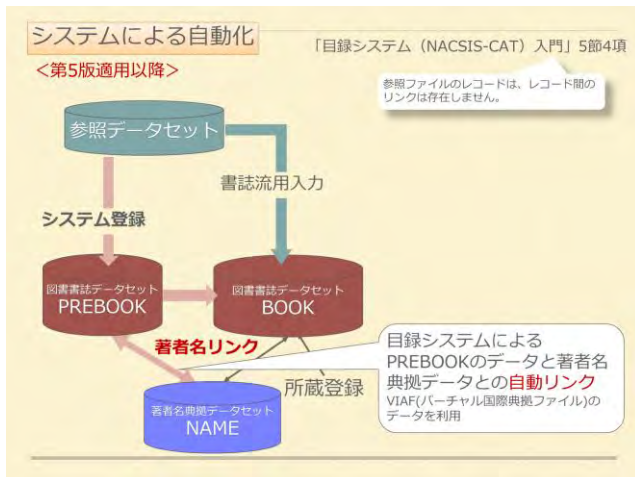
セルフラーニング「目録システム（NACSIS-CAT）入門」5節4項で、参照データセットについて、更に、「図書登録総論」1節2項では、参照データセットの書誌データを利用することで、効率的に書誌作成ができると説明しました。ただし、外部機関が作成したMARCを、フォーマット変換しただけの参照データは、各MARC作成機関の規則に従っているため、NACSIS-CATの規則に則って修正しなければならないというのが「流用入力」の考え方です。

「第5版」適用以降は、参照データセットからシステムが自動的に書誌登録を行います。これを「システム登録」と呼びます。システム登録された書誌データは、「PREBOOK」という、「BOOK」とは別の図書書誌データセットに登録されます。

PREBOOKの書誌データは、記述がRDAによった形式であっても、そのまま所蔵登録をすることができますし、最初に所蔵登録する時点で、現物をもとに修正することもできます。

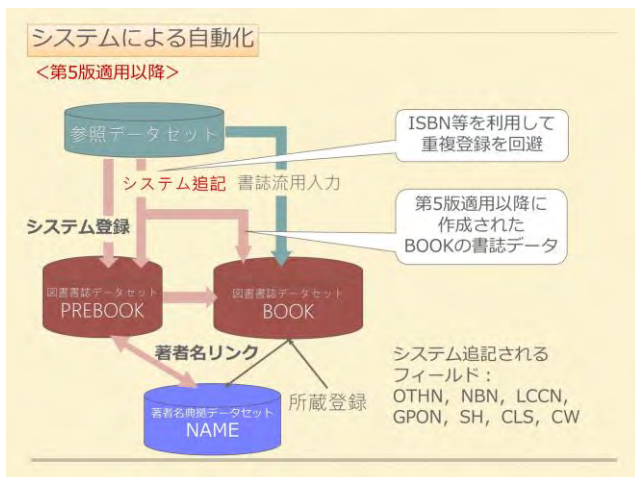
所蔵登録されたデータは自動的にBOOKに移行します。

なお、PREBOOKの書誌データには所蔵がありませんので、ILLでは検索対象になりません。



セルフラーニング「目録システム (NACSIS-CAT) 入門」5節4項では、参照データセットのデータに、データ間のリンクは存在しないと説明しました。

参照データと異なり、PREBOOKのデータには、目録システムによる著者名典拠データとの自動リンクを形成しているものがあります。これには、VIAF(バーチャル国際典拠ファイル)のデータを利用しています。

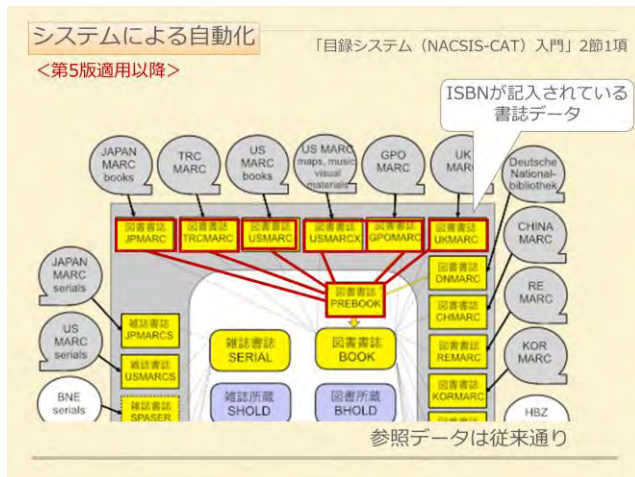


また、複数のMARCに同じ資料の書誌がある場合、目録システムに取り込む際に、ISBN等を利用して同定作業を行い、重複して登録されないようにしています。

このとき、後から取り込まれた書誌の方が、既存の書誌データよりも豊かな場合、目録システムは、既存の書誌データに自動的に情報を追加します。このことを、「システム追記」と呼びます。

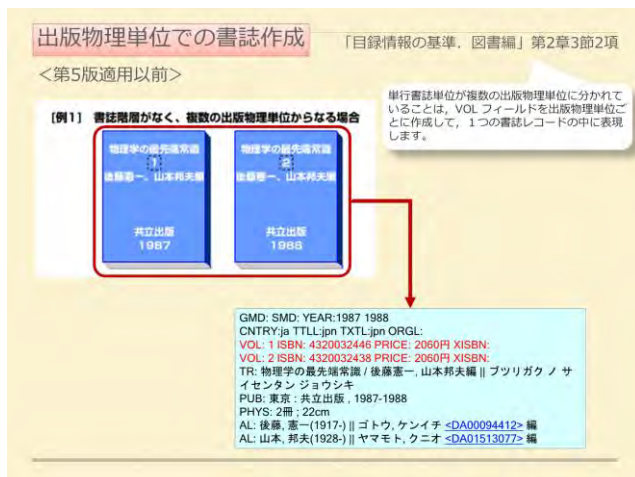
「システム追記」は、PREBOOKだけでなく、「第5版」適用以降に作られたBOOKの書誌データに対しても行われます。

「システム追記」がなされるフィールドは、コードブロックのOTHN, NBN, LCCN, GPONや主題ブロックのSH, CLS, および「CWフィールド」です。



「システム登録」「システム追記」に利用されるのは、JPMARC, TRCMARC, USMARC, USMARCX, GPOMARC, UKMARCの書誌データのうち、ISBNが記入されている書誌データです。

なお、参照データセットのデータは、これとは別に、従来通り、流用入力に利用できます。



次に「出版物理単位での書誌作成」についてです。

セルフラーニング「目録情報の基準. 図書編」第2章2項では、「単行書誌単位が複数の出版物理単位に分かれているときは、VOLフィールドを出版物理単位ごとに作成して、1つの書誌レコードの中に表現」と説明していました。

例1では、共通して付けられた固有のタイトル「物理学の最先端常識」を用いて、2冊の図書から、1つの「単行書誌単位」の書誌データを作成することになっていました。このとき、「1」「2」の出版物理単位は、VOLフィールドを繰り返して記述しました。

出版物理単位での書誌作成 「目録情報の基準、図書編」第2章3節2項

<第5版適用以降>

【例1】書誌階層がなく、複数の出版物理単位からなる場合

物理学の最先端常識
第1巻
後藤憲一、山本邦夫編
共立出版
1987

物理学の最先端常識
第2巻
後藤憲一、山本邦夫編
共立出版
1988

単行書誌単位が複数の出版物理単位に分かれていることは、VOL フィールドを出版物理単位ごとに作成して、1つの書誌レコードの中に表現します。

GMD: SMD: YEAR: 1987
CNTRY: ja TTL: jpn TXTL: jpn ORGL:
VOL: 1 ISBN: 4320032446 PRICE: 2060円 XISBN:
TR: 物理学の最先端常識 / 後藤憲一、山本邦夫編 || プツリ
ガク / サイエンタン ジョウシキ
PUB: 東京: 共立出版, 1987
PHYS: 186p; 22cm
AL: 後藤, 憲一(1917-) || ゴトウ, ケンイ
チ <DA00094412> 編
AL: 山本, 邦夫(1928-) || ヤマト, クニ
オ <DA01513077> 編

GMD: SMD: YEAR: 1988
CNTRY: ja TTL: jpn TXTL: jpn ORGL:
VOL: 2 ISBN: 4320032438 PRICE: 2060円 XISBN:
TR: 物理学の最先端常識 / 後藤憲一、山本邦夫編 || プツリ
ガク / サイエンタン ジョウシキ
PUB: 東京: 共立出版, 1988
PHYS: 185p; 22cm
AL: 後藤, 憲一(1917-) || ゴトウ, ケンイ
チ <DA00094412> 編
AL: 山本, 邦夫(1928-) || ヤマト, クニ
オ <DA01513077> 編

「第5版」適用以降は、出版物理単位で書誌を作成します。

「物理学の最先端常識」の1に対する書誌データと、2に対する書誌データは別に作成します。

VOLフィールドには、今までどおり、それぞれの巻次等や部編名、ISBNを記録しますが、VOLグループの繰り返しは行いません。

出版物理単位での書誌作成 「目録情報の基準、図書編」第2章3節2項

<第5版適用以前>

物理学の最先端常識
第1巻
後藤憲一、山本邦夫編
共立出版
1987-1988

GMD: SMD: YEAR: 1987 1988
CNTRY: ja TTL: jpn TXTL: jpn ORGL:
VOL: 1 ISBN: 4320032446 PRICE: 2060円 XISBN:
VOL: 2 ISBN: 4320032438 PRICE: 2060円 XISBN:
TR: 物理学の最先端常識 / 後藤憲一、山本邦夫編 || プツリガク / サイエンタン ジョウシキ
PUB: 東京: 共立出版, 1987-1988
PHYS: 2巻; 22cm
AL: 後藤, 憲一(1917-) || ゴトウ, ケンイチ <DA00094412> 編
AL: 山本, 邦夫(1928-) || ヤマト, クニオ <DA01513077> 編

<第5版適用以降>

GMD: SMD: YEAR: 1987
CNTRY: ja TTL: jpn TXTL: jpn ORGL:
VOL: 1 ISBN: 4320032446 PRICE: 2060円 XISBN:
TR: 物理学の最先端常識 / 後藤憲一、山本邦夫編 || プツリ
ガク / サイエンタン ジョウシキ
PUB: 東京: 共立出版, 1987
PHYS: 186p; 22cm
AL: 後藤, 憲一(1917-) || ゴトウ, ケンイ
チ <DA00094412> 編
AL: 山本, 邦夫(1928-) || ヤマト, クニ
オ <DA01513077> 編

GMD: SMD: YEAR: 1988
CNTRY: ja TTL: jpn TXTL: jpn ORGL:
VOL: 2 ISBN: 4320032438 PRICE: 2060円 XISBN:
TR: 物理学の最先端常識 / 後藤憲一、山本邦夫編 || プツリ
ガク / サイエンタン ジョウシキ
PUB: 東京: 共立出版, 1988
PHYS: 185p; 22cm
AL: 後藤, 憲一(1917-) || ゴトウ, ケンイチ <DA00094412> 編
AL: 山本, 邦夫(1928-) || ヤマト, クニ
オ <DA01513077> 編

「第5版」適用以前、適用以降の書誌を比べてみましょう。

「第5版」適用以前は、複数の出版物理単位を持つ書誌には、すべてに共通する内容しか記述できませんでしたが適用以降は、それぞれの情報を、個別に記入することができます。

たとえば、PUBフィールドの出版年には、刊行開始年と刊行終了年をハイフンでつなぐのではなく、それぞれの出版年、1987年、1988年を記述することができます。形態に関する事項、PHYSフィールドには、「2冊」という冊数ではなく、それぞれのページ数を記述することができます。

出版物理単位での書誌作成 「図書書誌登録」3節3項

(例)上巻が既にあり、下巻の書誌を作成する場合

上巻の書誌レコードに下巻の情報を追加したい場合は、書誌修正の操作になります。

NCID: BB24397861
VOL: 上 ISBN: 9784309728742
TR: 源氏物語 / [紫式部著]; 角田光代訳
PUB: 東京: 河出書房新社, 2017.9
PHYS: 689p; 挿図; 20cm

<第5版適用以前> 書誌修正 既存書誌はそのまま <第5版適用以降>

NCID: BB24397861
VOL: 上 ISBN: 9784309728742
VOL: 下 ISBN: 9784XXXXXXX
TR: 源氏物語 / [紫式部著]; 角田光代訳
PUB: 東京: 河出書房新社, 2017.9-201X.X
PHYS: 2冊; 挿図; 20cm

NCID: BB24397861
VOL: 上 ISBN: 9784309728742
TR: 源氏物語 / [紫式部著]; 角田光代訳
PUB: 東京: 河出書房新社, 2017.9
PHYS: 689p; 挿図; 20cm

下巻の書誌データを新規作成

NCID: XXXXXXXXXX
VOL: 下 ISBN: 9784XXXXXXXXXX
TR: 源氏物語 / [紫式部著]; 角田光代訳
PUB: 東京: 河出書房新社, 201X.X
PHYS: XXXp; 挿図; 20cm

セルフラーニング「図書書誌登録」3節3項では、上巻の書誌レコードに下巻の情報を追加したい場合は、書誌修正の操作になると説明しました。よって、図のようなケースでは、書誌修正で元の書誌にVOLグループを追加していました。

「第5版」適用以降は、既存の上巻はそのまま、下巻の書誌を新たに作成します。

ただし、「第5版」適用以前に作られた、VOLグループの繰り返しがあるデータに対して、さかのぼって機械的にVOLを分割する修正は行いません。

出版物理単位での書誌作成

<第5版適用以降>

VOL積み禁止の例外

- ・和古書、漢籍、西洋古典籍
- ・マイクロ形態資料

和古書は江戸時代まで（1868年以前）
漢籍は辛亥革命まで（1912年以前）
西洋古典籍はおおむね1830年までに
書写・刊行された資料

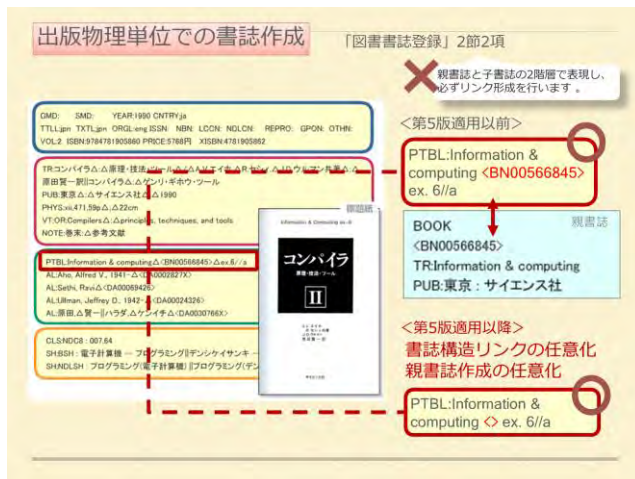


なお、例外として「第5版」適用以降もVOLグループを繰り返して表現できる資料があります。

1 つ目は、和古書、漢籍、西洋古典籍等、書誌データが他館で活用されることを前提としない資料です。和古書は江戸時代まで、漢籍は辛亥革命まで、西洋古典籍はおおむね1830年までに書写・刊行された資料を指します。

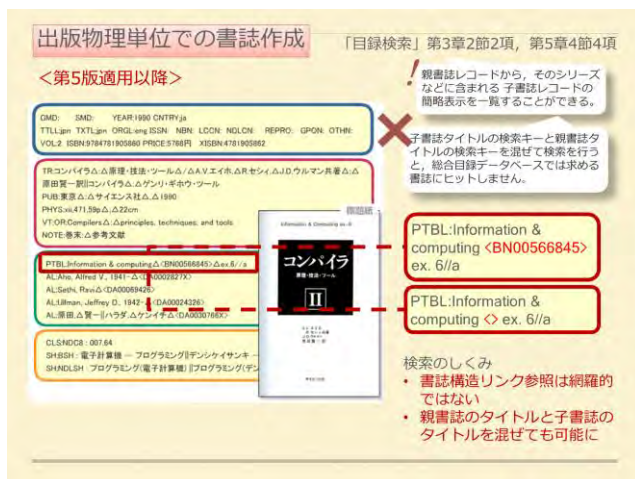
2 つ目は、多巻物であっても、情報源が先頭の巻など1か所にしかないマイクロ形態資料です。

これらの資料は、所蔵館の判断によって、出版物理単位毎に書誌データを作成することもできます。



セルフラーニング「図書書誌登録」2節2項では、書誌構造が存在する場合には、親書誌と子書誌の2階層で表現し、必ずリンク形成を行うと説明しました。書誌構造リンクを形成するとスライドの例のように、子書誌のPTBLフィールドに親書誌のデータIDが転記されます。

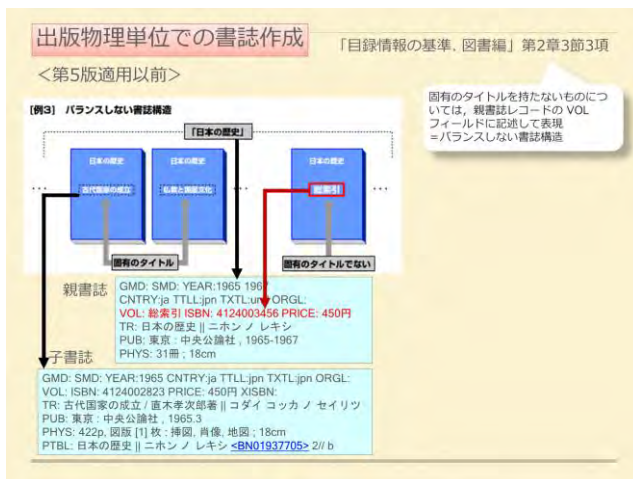
「第5版」適用以降は、書誌構造リンクの形成と親書誌の作成は「任意」になります。書誌構造リンクを形成しない場合には、<>のみ表示されます。



セルフラーニング「目録検索」第3章2節2項で、親書誌レコードから子書誌レコードを、書誌構造リンク参照で一覧できると説明しました。「第5版」適用以降は、書誌構造リンクは任意となりましたので、リンク参照ではシリーズのすべての子書誌を、表示できない点、注意が必要です。

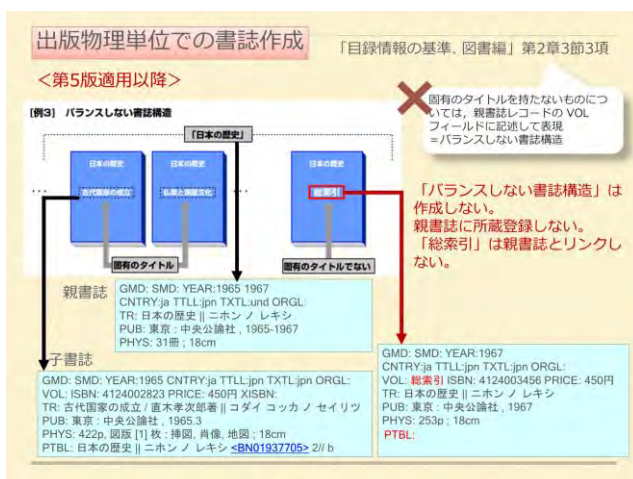
一方「目録検索」第5章4節4項では、子書誌タイトルの検索キーと親書誌タイトルの検索キーを混ぜて検索を行うと、求める書誌がヒットしないと説明しました。「第5版」適用以降は、PTBLフィールドからも検索用インデックスとしてKEYが切り出されるため、同時に検索することができます。

この例では、「コンパイラ」と「Information & computing」を掛け合わせて検索することが、可能になります。



また、セルフラーニング「目録情報の基準、図書編」第2章3項で説明した「バランスしない書誌構造」は、廃止となります。

この例では、親書誌は「日本の歴史」です。これまでは、固有のタイトルではない「総索引」は、親書誌データのVOLフィールドに記述して、親書誌に所蔵登録をしていました。



「第5版」適用以降は、「バランスしない書誌構造」は作成してはいけません。「総索引」は親書誌データのVOLフィールドに追加せず、新たな出版物理単位の書誌データを作成します。

親書誌データを作成する場合は、「子書誌に共通の情報」のみを記録するため、特定の出版物理単位の情報記録したり、所蔵登録をしたりすることはなくなります。

なお、この「総索引」のPTBLフィールドに「日本の歴史」を記述すると、出版物理単位のタイトルにも、シリーズタイトルにも、両方に「日本の歴史」が入ることになってしまいます。よって、PTBLフィールドに「日本の歴史」を記述せず、「総索引」は独立した書誌として捉えます。注意してください。

書誌並立の許容
＜第5版適用以前＞

「図書書誌登録」3節5項

✕ 発見館で修正可能か、あるいは事前に作成館との協議が必要か、修正後の所蔵館への連絡は必要か、この3点です。

修正事項一覧

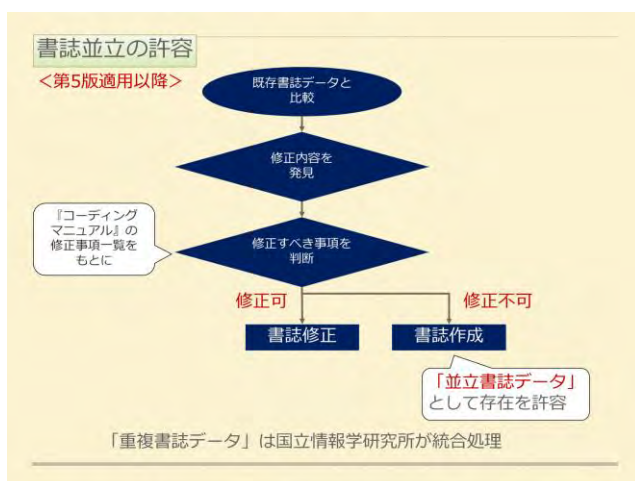
フィールド名	修正事項 (例示・注意事項)	発見館 修正可	作成館 と協議	所蔵館 へ連絡
VOL	(1) 新たな書称次・題名名の追加	☐	☐	☐
	(2) 既丁に属する特殊な記号表示に関する語句の追加	☐	☐	☐
	(3) ISBNの印刷語句の追加	☐	☐	☐
	(4) 区切り記号の訂正	☐	☐	☐
	(5) VOLフィールドのデータが居るべきときのデータのVOLフィールドからNOTEフィールドへの移動 (ただし、出版管理単位を識別するために必要な情報は残すこと)	☐	☐	☐
	(6) 転記の際の単純な記入ミスに対する修正	☐	☐	☐
	(7) 書誌単位の取り方の相違等による個別書誌の統合化 (この場合、重複書誌レコードの報告が必要)	☐	☐	☐
	(8) 書誌レコードを分割するような場合でのVOLの削除 例：既丁に属する特殊な記号表示があるときと分替	☐	☐	☐
	(9) 書誌単位の変更の結果、題名として表現するためにVOLフィールドを削除するような場合	☐	☐	☐
	(10) 価格に対する説明語句等の記述を削除する場合	☐	☐	☐

レコード調整の廃止

最後に、「並立書誌の許容」について説明します。

「図書書誌登録」3節5項では、修正事項には、発見館が修正可能なものと、作成館と協議が必要なものと、修正後に所蔵館への、連絡が必要なものがありました。

「第5版」適用以降は、レコード調整は廃止します。



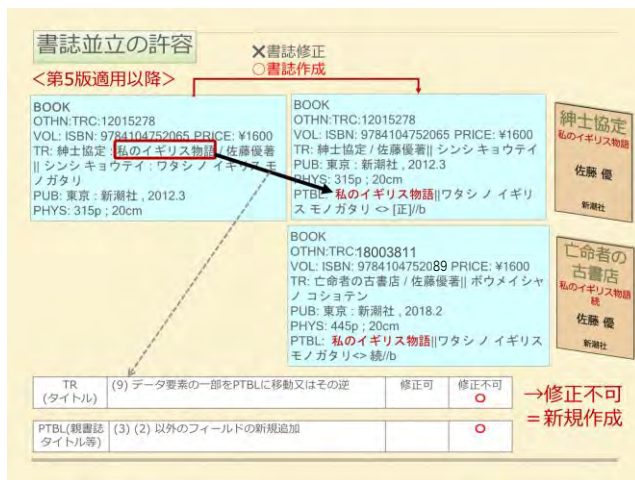
書誌修正の作業の流れは、「図」のようになります。まず、登録したい資料と既存の書誌データを比較します。

修正内容を発見したら、『コーディングマニュアル』の修正事項一覧を元に、修正すべき事項かを判断します。

修正可であれば、そのまま書誌を修正します。

修正不可であれば、新規に別の書誌を作成します。これによって、同じ資料の書誌データが複数できてしまった場合、それらは「並立書誌データ」として、存在を許容されます。

ただし、書誌データの内容に全く異なる点が見られない書誌データを「重複書誌データ」と呼び、重複書誌データは国立情報学研究所が統合処理します。並立書誌の許容は重複書誌作成を推奨するものではありませんので、これまで通り、修正指針を元に修正内容を判断するよう注意しましょう。



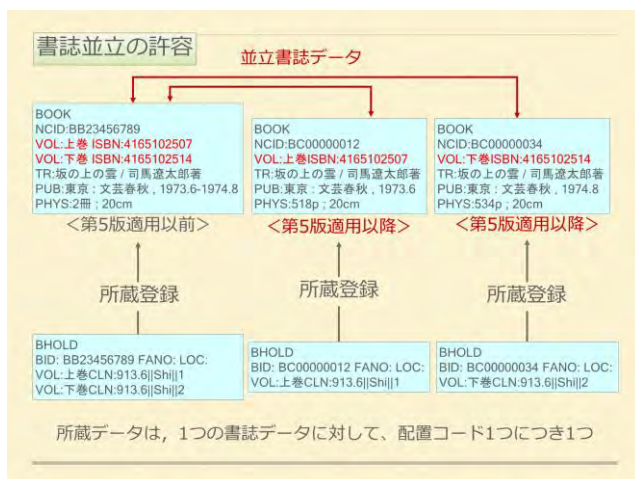
ここまでの流れを具体例で説明しましょう。

書誌を登録する際には、これまでと同様に、まずは書誌検索をします。PREBOOKに該当する書誌があれば、この書誌に所蔵を登録することができます。所蔵登録するとデータはBOOKデータセットに移行します。

その後、『私のイギリス物語』の続編が刊行されたとします。PREBOOKの続編のデータは、所蔵登録する際に、現物を元にこのように修正することができます。

正編にあたる『紳士協定』の書誌について、「第5版」適用以前では、『私のイギリス物語』をシリーズ名とした記述に修正して良いか、作成館と協議し、書誌修正を行っていました。

「第5版」適用以降のコーディングマニュアル21章修正事項一覧はこのようになっています。TRフィールドに関して、データ要素の一部をPTBLに移動することは修正不可、PTBL側でも、一般的にフィールドの新規追加はできないことになっていました。そこで、既存書誌はそのまま修正せず、新たに『私のイギリス物語』を親書誌としたデータを作成します。これは同じISBNですが、重複ではなく、並立書誌として認められます。



並立書誌について、もう1つの例を説明します。

「第5版」適用以前に、VOLグループの繰り返しがあるデータに対して、さかのぼっての修正を行ってはいけません。たとえば、この例では、『坂の上の雲』上下を1書誌にまとめてあります。

しかし、出版物理単位ごとに分けた書誌データを、これとは別に新たに作成することもできます。このとき、既存の書誌データと新たに作成した書誌データは、並立書誌データとして、存在を許容されます。

所蔵館は既存の書誌データに所蔵登録することもできますし、新たに作成した書誌データに、所蔵登録することもできます。

なお、所蔵データは、1つの書誌データに対して、各参加館の配置コード1つにつき1つだけ作成できる、ということは、変更ありません。



並立書誌データを関連づけるのが、RELATIONデータセットです。

書誌データを登録または更新する際、目録システムが、並立書誌判定ルールを用いて自動的に関連付け、RELATIONデータセットに登録します。

RELATIONデータセットで結びつけられるのは、「第5版」適用以前に作られた書誌と、以降に作られた書誌、または、「第5版」適用以降に作られた書誌同士です。「第5版」適用以前に作られた書誌同士で結びつけられることはありません。

RELATIONデータセットは、NACSIS-ILLやCiNii Books等の書誌利用において活用されます。

おわりに

これからの学術情報システム構築検討委員会と国立情報学研究所は、CAT2020以降の目録所在情報システムについても検討を継続しています

今後とも、より良い学術情報システムの構築に向けて、ご協力をお願いいたします。



問合せ窓口 : catadm@nii.ac.jp

以上、セルフラーニング教材で学んだ内容の変更点を説明してきました。ご不明な点がありましたら、スライド下部の、CAT2020問い合わせ窓口にご連絡ください。

なお、「これからの学術情報システム構築検討委員会」と国立情報学研究所では、CAT2020以降の目録所在情報システムについても、検討を継続しています。今後ともより良い学術情報システムの構築に向けて、ご協力をお願いいたします。